



# 合格体験記



氏名：M.T.

## 【合格した自治体(校種・教科)】

神奈川県(中学校・理科) ・ 愛知県(中学校・理科) ・ 大阪府(中学校・理科)

## Q 採用試験に向けて・・・

### ①いつから勉強しましたか

3年生の10月くらいから、図書館の6階を体験し始めましたが、本格的に始めたのは、合宿が終わってからだだと思います。しかし、1月は、試験もあったのでほとんど勉強できず、春休みから、みんなに追いつこうと頑張りました。

### ②どのような教材を使っていましたか

- ・ 七賢出版の『東京アカデミーの参考書、問題集、セサミノート』(教職教養&一般教養)
- ・ 実務教育出版の『教員採用試験 スーパー過去問ゼミ』(教職教養)
- ・ 時事通信出版の『全国過去問』(教職教養&一般教養)

### ③勉強方法

私は、まず一般教養から始めました！！しかし、これは大きなミスでした。。。

範囲が広すぎ、終わらずに挫折してしまうので、絶対に教職教養からやるべきです。

教職教養は、参考書を読み、セサミノートを2回くらいやってとにかく用語を覚えました。そのあと、問題集や全国過去問で、実践力をつけました。一般教養は、挫折するまでは教職教養と同じ方法でやりましたが、挫折後は、全国過去問を解き、間違ったところを調べて覚えるという形にしました。

### ④一日何時間勉強しましたか

日によりますが、朝は研究室に行き、昼は面接練習・・・といった感じだったので、平日は3～4時間、休日は7～8時間はしていたと思います。理系の人は、研究との兼ね合いが非常に難しいと思いますが、上手く時間を作っていくようにしてください。

### ⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

神奈川県、愛知県、大阪府を受験しました。一次試験は、対策方法がどの自治体も変わりませんので、一般教養・教職教養の勉強を行い、面接練習にはほぼ参加していました。自分がやるのも大切ですが、他人のを見るのもすごく勉強になります。参加するだけでなく、面接ノートを書いたり、各自自治体の施策や教育ニュースをチェックするようにしていました。

### ⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

神奈川県→一次の合格発表後、すぐに模擬授業を作り始めました。何度も練習し、見てもらって、自信を持って臨めるくらいにまでもって行きました。これも、やはり一人ではできません。クレーターの切れた10号館で頑張れたのは、一緒に頑張った人、手伝ってくれる人、アドバイスをくれた先生がいたからです。愛知県→集団討論の全体練習は、神奈川の試験と被ってしまい行けなかったもので、理科ナビでの練習を半ば強引に開いてもらいました。

大阪府→専門は、過去門を一通り解きました。模擬授業は、どこが出るのか分からないので、自分たちでくじ引き形式の授業の出し合いを、2～3回は行いました。教科書も、図書館の3階で一分野・二分野全て目を通しました。

神奈川県・愛知県は、一次の発表後本当に時間がなく、先生方・ナビの皆の素早い対応に助けられました。逆に、大阪府は、面接・模擬授業のみを残して2週間以上あったので、気が緩みがちですが、ナビの皆がいたのでモチベーションが下がらずにいけたと思います。

もちろん、2次の面接対策にも参加し、個人でも集団と同じくらい自分を出せるようにしました。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

たくさん仲間が見つかり、自分を変えてくれた場所です。試験当日、周りの不安そうにしている人達を見て、「仲間がいる私は本当に恵まれているなあ。」と思いました。やはり、同じ夢に向かって一緒に頑張った仲間がいるというのは強かったと思います。また、人間性あふれる様々な人たちと出会って、ぶつかり合って、笑い合うことによって、視野が広がったと思います。ナビでの日々がなかったら、間違いなく合格できていなかったと思います。本当に、ナビには感謝してもしきれないです。

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

研究室にはできるだけ、顔を見せるようにしていました。朝に研究室に行き、昼からは面接練習のため抜けるといった毎日でした。もちろん研究は進まず、研究室の先生の機嫌も悪くなるが多々ありましたが、生徒のことを信頼してくれる先生なので、教採が終わってから頑張りますと言っておき、教採の方を優先していました。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

ボランティアは、3回生の時に週2回行っていました。私は、ボランティア経験が少ないので、1・2回生の人たちはぜひやっておくことをお勧めします。バイトと習い事(習字)は、4回の4月中旬まで続けていましたが、そこから休ませてもらい、教採が終わった後に復帰しました。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

ナビの皆に悩みを聞いてもらったり、褒めてもらったりするとうれしくなりました。あとは、教採とは全く関係ない研究室や学科の友達と話したりもしていました。どうしても辛い時は、中3の時の学級通信がまだ家に残っているのでそれを読みながら涙を流し、「私も絶対教師になる！」とモチベーションを上げていました。

⑪大学生活中にやっておいたらいいこと

当たり前のことですが、様々な経験を積んでおいたら良いと思います。バイト・ボランティア・サークル・習い事・資格取得・旅行など、どの経験もやって損をすることはないはずです。やるだけでなく、続けることが出来れば、もっと自分を大きくしてくれるでしょう！！もちろん、ナビの活動にも力を注いでください☆

## Q これからどのような先生になりたいですか

メリハリのある先生になりたいです。

笑顔あふれる毎日過ごすのはもちろんですが、叱る時にビシッと叱れるようにしたいです。

あと、生徒をきちんと受け止め、一人一人の個性を輝かせ、原石を将来の宝石にしたいです。

## Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

教員採用試験というのは終わってみると、本当にあっという間です。しかし、意外と長く感じることもあると思います。周りの子が就職の内定をもらい始めた時、自分が終わるのは5ヶ月後なのだと感じました。志望動機と自己PRは、最初の頃の原形をとどめないほど何度も何度も練り直し、毎日10時まで図書館で勉強して家には寝に帰るだけ・・・今思い返すとよくこんな日々を耐えたなと思います。そんな日々でも、楽しいと感じることが出来たのはやはり、ナビの仲間存在だと思います。勉強の合間に悩みを聞き合ったり、愚痴りあったり、夕食や帰り道に大声で笑ったり、絶対に一人では出来なかったことが、ナビに入ったことで可能になりました。本当にナビは、かけがえのない存在でした。

これから、教員採用試験をむかえるにあたって、不安になってしまうことがたくさんあると思います。そんな時、絶対に一人で抱え込まないで下さい。周りにはたくさん仲間がいます。そして、仲間が助けを求めた時、手をさしのべてあげて下さい。共に支え合って乗り越えていく、教員採用試験はそういうものです。

力まず、焦らず、笑顔で！

お互い、良い先生になりましょうね！！

